

会 議 録

1 会議名

令和3年度第7回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議（一部非公開）

「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の諮問に対する答申について
自主的審議事項について
視察研修について

（2）報告（公開）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

3 開催日時

令和3年9月8日（水）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

個人に対する事項を審議するため

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：荒川清尊、岡田龍一、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、
宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一
- ・事務局：名倉浩中郷区総合事務所長、内藤香織次長（総務・地域振興グループ長
兼務）、宮尾広幸市民生活・福祉グループ長、教育・文化グループ長
総務・地域振興グループ・内田明浩班長、田村結花主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【内田班長】

- ・会議の開会を宣言

【竹内（靖）会長】

挨拶

【内田班長】

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認：「荒川清尊」委員と「陸川昇一」委員に依頼。

協議事項(1)の「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の諮問に対する答申について事務局の説明を求める。

【内田班長】

資料No.1に基づいて説明。

【竹内（靖）会長】

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

【高橋（達）委員】

今後に取りあげる自主的審議事項が大事だと感じている。それを今後計画を立てて行かないといけない。

【竹内（靖）会長】

持続的発展計画についてはすごく奥深いものがあって資料を読んでもなかなか分かりづらい。宮川委員から県で出している少しわかりやすいというような資料をいただいていたりして、高橋委員からも今後のアドバイスとか、当事業の地域協議会としての進め方についてもご指摘いただいた。中郷区の過疎地域持続的発展計画について常に頭に入れながら、今後の自主的審議事項などを決めていきたいと思っている。

取り急ぎこの上越市過疎地域持続的発展計画（案）の答申については、これによろしいか。

・・・全員承諾・・・

【宮川委員】

上越市の計画書では何をどうしたいのか分からないと高橋委員から意見があったので、県から出ている計画書を調べてみた。80ページあるが、上越市に関する部分を抜粋してお配りした。上越市への指導等が書かれているので参考としてほしい。

【竹内（靖）会長】

特になければ、協議事項（1）の「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の

諮問に対する答申については、これで閉じることとする。

次に、自主的審議事項について事務局の説明を求める。

【内田班長】

参考資料No.1に基づいて説明。

【竹内（靖）会長】

今ほど説明があったとおり、事業の確定に伴った予算要求ということで次のステップに進んでいる。スノーモービルの格納庫については計画時より少し大きめの選択としたことや物価の高騰により値段が上昇している。

桜の植樹については、二本木駅の伐根が周辺構造物の取り壊しも発生するため難しいということとなった。

縄文公園についてはご覧のとおりである。

講演会事業については村越委員から補足説明をお願いしたい。

【村越委員】

当日資料により説明

(個人に対する事項を審議するため部分的に非公開)

:

:

【竹内（靖）会長】

意見交換会では、整備後の維持管理についてディスカッションを行った。現在は、小学校の環境整備を春と秋に行っており、春は親のみで秋は高学年のみ親子での参加となる。しかし、参加者が少なく人手不足であるため、学校からは是非とも地域協議会しかり、区内の各団体とも連携を取りながら、今後、夕日ヶ丘とか学校の環境整備については力を貸していただきたいという話だったと思う。地域協議会も積極的に参加していく形をとっていきたいというご意見もいただいたので、学校とスケジュール調整し都合が合えば、また皆さんからも協力していただきたいと思っている。

あと、まちづくり振興会で行っているエコウォークに合わせてという話も出ていたが、今の現況だとなかなか難しい状況である。学校の環境整備については、振興会も1団体として協力していただくような形をとっていきたいというようなことだったと思う。

【荒川委員】

やはり維持管理が一番大変になってくると思う。片貝縄文資料館は年 3 回周辺整備で草刈をやっている。それは主に南部まちづくり協議会が中心になってやっているが、町内会に何人ということをお願いすると、結構大勢集まっていただけ。ある程度町内会単位に何名ぐらいという形をお願いすれば、集まるのではないかな。南部、西部と分けて、中郷区全体で行うようなことで考えた方がうまくいくのではないかな。

【竹内（靖） 会長】

いい意見である。団体ばかりに頼るのもおかしい感じもする。区全体、町内会に呼びかけて町内会から参加者を募ってみんなで行うのも一つの手段である。そうなれば、夕日ヶ丘の状況等も皆さんの目に留まるし大切にしてもらえるのかなと思う。

【高橋（京） 副会長】

荒川さんの意見に同感である。本当にみんなで地域の宝を大切にしていこうという方向に進められればとてもいいことだと思う。

【竹内（靖） 会長】

皆さんからいいご意見いただいたので、これをぜひ学校へ伝えながら地域全体でしっかりと守っていきたいと思った。

それで今回の自主的審議事項の「未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり」のテーマについては長い年月かけていろんな事業を考慮しながら、来年度の予算要求の段階にまで来ることが出来た。この自主的審議事項については今後この予算案の変動があった時や講演会の方も確定して皆さんに報告するような運びになったら報告させていただくが、一旦この自主的審議事項については、一つの区切りとさせていただきたいと思っている。今後は、来年に事業が始まる段階でまた皆さんとの意見交換を交えながら行っていきたいと思っている。

高橋（達）委員からもアドバイスをいただいております、10月、11月には今後の自主的審議事項をどのように進めるか決めていきたいと思っている。また、今回答申した上越市過疎地域持続的発展計画の件もあるので、その辺も勉強しながら中郷区の今後を地域協議会としてどういったことができるかというようなことを思いながら今後の自主的審議事項を洗い出していきたいと思っている。

いずれにしろ 3 月の活動報告会では、今回の自主的審議事項に関して報告するとともに、令和 4 年度はこのような形でいくという説明をし新しいスタートをしたいと思っている。

皆さんからも地域の中、また上越市の中でお気づきの点、課題等あったら逐次出していきたいと思っている。一応今後のスケジュールはそんな形でいきたいと思っているのでお願いしたい。

特になければ、協議事項(2)の「自主的審議事項」については、これで閉じることとする。次に、「視察研修」について事務局の説明を求める。

【内田班長】

資料No.2に基づいて説明。

【竹内(靖)会長】

今ほど視察研修について説明があり、資料2には今までの実績が載っている。

今年度の視察研修をどうするかとなるが、時期的には11月ぐらいかと思っている。今の状況からするとなかなか視察のアポイントも取りづらい状況である。事前の副会長との打合せの中で私から提案させていただいたのは、この様な状況の中で区外へ出向く必要はないのではないかということである。去年は雪郷プロジェクトと日曹の工場見学であったが、今年度も区内の方を少し回って自主的審議事項に繋がるような地域の課題を見つけたらどうかと考えている。二つ提案があり、一つは春にさとまる学校で通学の危険箇所を調べてデータで上げてあるが、その危険箇所について皆さんと現場を見て、喫緊に修繕が必要な部分とかがあれば地域協議会の中でも議論しながらやっていたらいいと思っている。また、子供110番については過去にステッカーを貼り、その当時は機能していたが現在に対応できない家もあるため、行政と相談しながら見直すことが必要だと考えている。二つ目は、勝馬基金を投入したひばり荘であるが、民営化で運営されているが、今の経営陣と今の状況とか今後の地域との関わりとかを話をする時間があってもいいのかなと考えているがいかがか。

【宮川委員】

今はコロナの関係があるので、区外に出るのは控えた方がいいと思っている。最近の上越市でも多く発生しているのでどうかと思う。

【高橋(達)委員】

去年はコロナの関係で区内視察となり、その前の年が津南へ行く予定だったのが台風21号で津南で災害があったため急遽中止となったことから、区内でも被害があったその現場の視察となっている。個人的には、再度津南に行ってみたいという思いがある。もしくは、出雲崎にとっている。しかし、コロナの関係で難しいようであれば次

年度にでもどうかと考えている。

テーマ的にも、住み続けたいまちづくりとか子育て支援の取り組みなので非常に今後の自主的審議事項の参考になるのかなと思っている。

【岡田委員】

やはり今の状況では区外に出向くのは厳しいかと思う。

【高橋（達）委員】

関山演習場の施設を地域協議会として1度くらいは視察してみてもいいのではないか。

【竹内（靖）会長】

いろいろと意見いただき有難い。

津南と自衛隊についてもコロナの関係で難しそうである。自衛隊では会議などもリモートで行っていると聞いた。高橋委員の提案については、今期は難しいと思われるが、今後の視察先として検討していきたい。今回は、基本的には区外に出ないで地元で出来るようなことを考えさせていただく。ひばり荘については、攻撃的に批判的な話をするのではなく、今後の成り行きとかお互いの問題点などを話ができたらと個人的に思ったので提案させていただいた。

【荒川委員】

ひばり荘に関しては、いろいろと物議がある。以前は南部地区から多くの人利用していたが、オープンが11時と遅くなったりして、持ち込みも禁止となったことから利用者が少なくなっていった。一時期、営業方法についてどうにかならないのかとの意見も出ていたが、最近はそんな話も出なくなり、行く人がいなくなった。今はどういう方が利用されているのか逆に聞いてみたい。

【竹内（靖）会長】

今回はいずれにしても区外に出るような視察はなしにして、もう少し区内を、見て回るような形で、11月上旬中旬ぐらいにかけて日程調整させていただく。

特になければ視察研修については、これで閉じることとする。

続いて報告事項（1）の「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について事務局の説明を求める。

【内田班長】

資料No.3に基づいて説明。

【竹内（靖）会長】

説明のとおりである。皆さんからご意見をいただきたいが、私から何点かある。

1 ページ目の、周知の関係であるが、要は委員の皆さんが職場等に理解を求めるように市にも働きかけて欲しいということに対し、市は委員の勤務先に委員活動の理解と協力依頼の文書を発送する等の内容かと思うが、個人的には違和感がある。地域協議会に気を遣っているというか、委員の会社に対して行政としてそこまでするのかというところが少し疑問に感じる。

いいと思ったのは、情報共有の部分で、清里区での「空き家対策の中で、安心ノートというような取組に繋がった」というような事例があることなど、こういった情報共有についてはすごく参考になる。あと意見交換の部分では、後でまた協議したいと思っていたが、去年中止となった4区のコラボ研修会については、まとまって協議会の取組ついでというのをディスカッションしていく必要があるのかなと思っているので、今年はちょっと形を変えてでも、4区との意見交換をやってみたいなと思っている。

あと最終のページの今後の予定の中で、常任委員会からの提言とあるが、行政の仕組みとしては仕方ないと思うが、果たして今の市議会の議員さんがどれほど地域協議会に足を運んでいるのかいうところはある。机上だけで議論しているだけではなく現場に足を運んで、話を聞いて、地域協議会委員の皆さんの意見を実際に耳にした中で、議会に上げて検討して欲しいというような要望は出したいと思っている。

地域協議会への提言と言っても、やはり現場の声というのはすごく大事だと思うし、他の地域協議会に足を運んでいるのかもしれないが中郷区を見ていると特定の議員さんしか今のところ来ていただけていない。

【高橋（達）委員】

私もそこが一番ちょっと気になっていた。

こういう地域自治区制度が始まって、市長の直轄という形で諮問答申するという活動と、地域活動支援事業の審査というような業務、その他、審議という形で地域をどうしていくかというようなことをやってきているが、ここにきて市議会からの提言とか云々と書いてある。彼らはどれだけ提言できるほど足を向けているのか。また、地域協議会と市長と市議との関係をどういうふう考えているのか疑問に思っている。

スタート時点では、ほとんど議会は直接関係していなかったと思われるが、ここにきて提言となると、それなりに足を運んだ上で地域協議会との情報交換も必要だと思う。ただ、議会報告会のような個人的に参加するかしないかのレベルではなく、本当に地域

を思うのであれば意見交換会などをしなければ、提言なんてできないと思っている。もう一つ、先ほどの企業への周知の関係だが、少し引っかかるところもあるが、市でやるのであればやってもいいのかなと思っている。

【竹内（昭）委員】

個人的な話をすると日曹から離れたので、必要はないと思っている。でも、会社によってはそういうのも必要あるのかと思うが、今の自分の会社では全然問題ない。

確かに、難しいところだと思う。

【高橋（達）委員】

中郷区には地域の企業や行政、学校関係者等と年1回意見交換を行っていたが、最近はコロナの影響で開催されていない。そういう場を大切にしながら地域の方にも地域協議会の理解を求めていくというのも大事だと思っている。

【竹内（靖）会長】

大事なポイントだと思う。

他の区はわからないが、中郷区の場合はそういうしっかりとした土壌のある中で、皆さん理解を得て委員になっているので、あえて行政から会社に周知するということは中郷区には馴染まないかと思う。いろんな面で企業も協力はすると思うが、ただ、いかんせん人手不足ということがどの会社もみんな悩みどころだと思っている。

そんな中で時間を割いて協議会に出られるように工夫するのはやはり各地域協議会でもっと知恵を絞るべきなのかなと思っている。行政にお願いするのはちょっとどうかと思う。

【村越委員】

地域協議会委員の確保という観点からいえば、やはり若い、例えば30～40代の中郷の企業で働く会社員の意見というのがこういう地域協議会では大事なのかと思うので、日曹のような大企業に行政から地域協議会委員の選出について依頼してもらってもいいのかと思っている。

【竹内（靖）会長】

斬新な意見が出た。今後の課題とする。

我々も委員の改選の時には協力して声かけなども必要だと思っているが、村越委員の意見も頭に入れて、実施していきたいと思う。

【宮川委員】

4 ページの市議会提案を反映するということで、市議会にそれなりの提案制度を作ってしまうと今までやってきた地域協議会の自由な発言が規制されてしまう。そこが疑問である。市議会が入る必要があるのか。地域協議会というのは地域での活動であって、地域の意見を反映したりするものだからそこに市議会が入るのは違うのではないか。市議というのは、上越市に関することを議論することはわかるが、地域についても行うかとなったらできるわけないし、だからこれは独立的に物事を考えてもらいたいと私は思う。

変に制度を作ってしまうと日本の場合は、その制度が当たり前になってしまう。地域協議会というのは、やはり自由な発言ができてそれなりの反映ができるような組織にならないといけないなと私は思っている。

【竹内（靖）会長】

非常に貴重な意見だと思う。これも「行政のとらえ方」「我々のとらえ方」ですり合わないところも当然あると思うが、ただ、我々地域の住民として、地域協議会委員に自主的に参加しているわけなので、そこら辺の考え方も反映させていただければありがたい。この声だけはしっかり議会へ届けて欲しいと思っている。今回のこの意識調査結果に伴いあらためて中郷区の地域協議会を見ると、非常に委員の皆さんレベルが高いというか素晴らしいと思っている。今までの継続メンバーに加え、新たなメンバーを含めて最高である。今後も皆さんの素晴らしい提案や意見をお願いしたい。

高橋委員から「地域を元気にするために必要な提案事業」について検討したい旨の話もあり、今までは使いづらいというかハードルが高いイメージがあったので、その辺については今回の対策に入っているのもので、今後どこかで話をさせていただければと思っている。

話は変わるが、先ほど少し話をしたが、4 区の合同研修会を 12 月の下旬あたりにさせていただきたいと考えている。今までの合同研修会というのは、どちらかというと委員の皆さんと懇親を深めるような形でたくさんの地域協議会委員を集めて行っていたが、このコロナ禍においてそのようなことをやれるわけがないので、今回は、会場は一とぴあ中郷のホールを会場に 4 区が取り組んでいるような事例発表ないし、行政から我々のテーマに沿った講師を呼んでもらって学習会のようなことを短時間でやるような方向で少し調整させていただきたいと思っている。昨年が中郷区の当番だったが

コロナの関係で中止となっており、今回もコロナ禍ではあるが、あまりコロナのせいにするのも良くないと思うので、できることを模索しながら非常に忙しい時期になってしまいが、調整していきたいと思うがよろしいか。

・・・全員承諾・・・

【竹内（靖）会長】

特になければ、報告事項（１）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組については、これで閉じることとする。

事務局他に何かあるか。

【内田班長】

ない。

【竹内（靖）会長】

委員の皆さんから、何かあるか。

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、10月26日（火）午後6時30分から、「中郷コミュニティプラザ」で行うこととする。

（終了 午後7時35）

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411（内線165）

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。